

U.S. Indicators

発表日：2023年6月14日(水)

FRBはインフレの低下傾向を受け利上げ休止へ(5月CPI)

～パウエル議長はコアインフレの鈍い低下を背景に追加利上げの可能性を否定しないだろう～

第一生命経済研究所 経済調査部

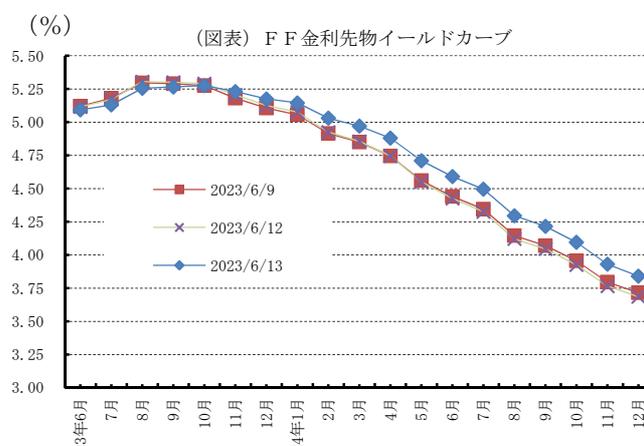
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年5月の消費者物価(総合)は、前月比+0.1%(4月同+0.4%)と鈍化し、市場予想中央値と一致した(筆者予想同+0.1%)。食品が前月比+0.2%(4月同0.0%)と上昇した一方、エネルギーが前月比▲3.6%(4月同+0.6%)と下落したほか、エネルギー・食品を除く消費者物価(CPIコア)が前月比+0.4%(4月同+0.4%)と市場予想中央値と一致した(筆者予想同+0.3%)。CPIコアは、賃料や帰属家賃、自動車保険、中古車等の高い伸びのほか、医療用品、新聞・雑誌、タバコ関連の上昇によって、押し上げられた。CPI総合が落ち着きを示す一方、インフレの基調を示すCPIコアが前月比で高い上昇を続けており、インフレ圧力は依然として強い。

前年同月比では、総合が+4.0%(4月+4.9%)と大幅に低下し市場予想中央値+4.1%(筆者予想+4.1%)を下回った。CPIコアが+5.3%(4月+5.5%)と市場予想中央値の+5.2%(筆者予想+5.2%)を上回ったものの低下したほか、食品が+6.7%(同+7.7%)と低下、エネルギーが▲11.7%(同▲5.1%)と下落した。CPIコアでは、財コアが+2.0%(4月+2.0%)と同率の伸びとなったほか、サービスコアが+6.6%(同+6.8%)と低下した。ベース効果で、中古車の下落幅が縮小したほか、供給不足の続く医薬品など医療用品の上昇によって財価格が上昇した。一方、賃貸料、帰属家賃が低下に転じたうえ、医療保険、レンタカー、航空運賃の下落などによって、サービス価格は低下した。

今回のCPI統計は、概ね市場予想通りの結果となり、インフレの低下が確認されたことからFRBは6月のFOMCで利上げ休止を決定しよう。ただし、CPI総合は、22年6月の+9.1%をピークに低下傾向を辿っているものの依然高い上昇率であるほか、CPIコアの低下ペースは鈍く、FRBの目標の前年比+2%からはかなりの距離が依然としてあるため、パウエル議長は6月FOMC後の記者会見で7月以降の追加利上げの可能性を否定しないだろう。また、ドットチャートではターミナルレートが0.25%程度上方シフトするとみられる。

金融市場の反応をみると、FF金利先物が示す6月FOMCでの政策金利据え置きの可能性が94.2%に上昇し、25bpの利上げの可能性が5.8%に低下した。一方、CPIコアが市場予想を上回ったことから、FF金利先物は利下げの織り込み度合いを弱めた。米国債利回りは一旦低下したが、年内利下げ期待の弱回りを受け上昇に転じた。為替市場ではドルが対円で一旦下落したものの上昇した。株価は上昇した。

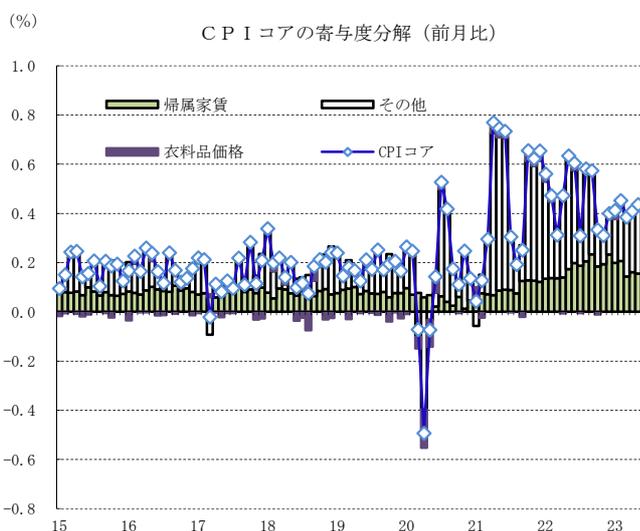


消費者物価 (Consumer Price Index)

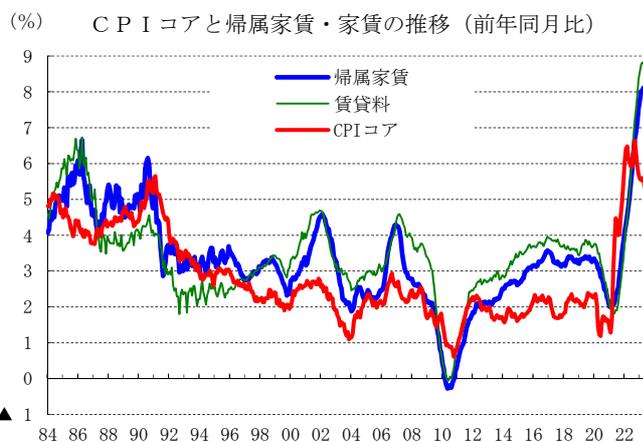
消費者物価

	総合		コア		エネルギー	食料品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア
22/05	+0.921	(+8.6)	+0.634	(+6.02)	+3.4	+1.1	+0.8	+0.4	+1.8	+0.4	+0.6	+0.6
22/06	+1.188	(+9.1)	+0.604	(+5.92)	+6.9	+1.0	+0.8	+0.7	+3.3	+0.6	+0.6	+0.6
22/07	▲0.034	(+8.5)	+0.309	(+5.91)	▲4.7	+1.1	+0.5	▲0.1	▲2.3	+0.4	+0.1	+0.4
22/08	+0.235	(+8.3)	+0.581	(+6.32)	▲3.9	+0.8	+0.8	+0.3	▲1.6	+0.6	+0.4	+0.6
22/09	+0.413	(+8.2)	+0.573	(+6.63)	▲1.7	+0.8	+0.7	+0.0	▲0.4	+0.7	+0.0	+0.8
22/10	+0.488	(+7.7)	+0.333	(+6.28)	+1.7	+0.7	+0.6	▲0.2	+0.7	▲0.3	▲0.1	+0.5
22/11	+0.205	(+7.1)	+0.310	(+5.96)	▲1.4	+0.6	+0.5	+0.1	▲0.7	▲0.4	▲0.2	+0.5
22/12	+0.131	(+6.5)	+0.399	(+5.71)	▲3.1	+0.4	+0.7	+0.2	▲1.6	+0.3	▲0.1	+0.6
23/01	+0.517	(+6.4)	+0.412	(+5.58)	+2.0	+0.5	+0.8	+0.8	+0.4	▲0.4	+0.1	+0.5
23/02	+0.370	(+6.0)	+0.452	(+5.54)	▲0.6	+0.4	+0.5	+0.8	+0.2	▲0.5	▲0.0	+0.6
23/03	+0.053	(+5.0)	+0.385	(+5.59)	▲3.5	+0.0	+0.3	+0.3	▲0.5	▲0.3	+0.2	+0.4
23/04	+0.368	(+4.9)	+0.409	(+5.52)	+0.6	+0.0	+0.2	+0.3	+1.2	▲0.0	+0.6	+0.4
23/05	+0.124	(+4.0)	+0.436	(+5.33)	▲3.6	+0.2	+0.2	+0.3	▲0.2	+0.1	+0.6	+0.4

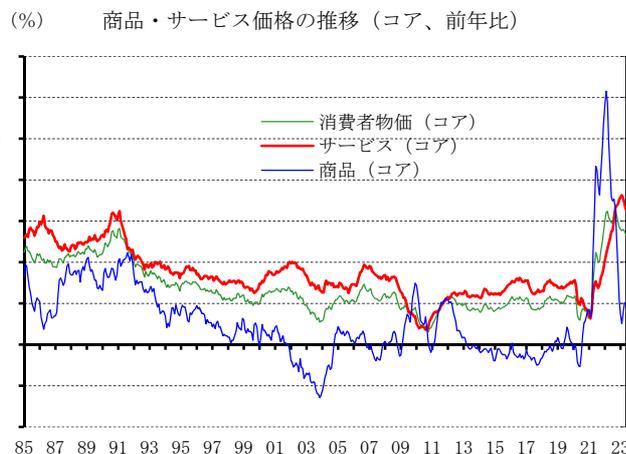
(注) 括弧内は前年同月比



(出所) 米労働省



(出所) 米労働省



(出所) 米労働省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

